

8 百年間の修学旅行

「今世は、二人で地球の見学に来たと思えばいいじゃない」

2017年初頭、自らを発揮する場や居場所を得られず悶々とする私に、妻が語った一言である。

私の視界はパツと開けた。地球の成り立ち、組成、自然、生物の変遷、人類史についての学びに、これまでに以上に拍車がかかった。

2年前の夏、福井県立恐竜博物館（勝山市）に3日連続で通ったことがある。月に2、3回は博物館や動物園に行く。一つの木、一つの石が、愛おしくなってきた。名前を覚えるのに日々悪戦苦闘中だ。

26年前（1991年）にアプリカ・ケニアに男4人でサファリ旅行

をした。その時の4人が、この4月に旅行以降初めて一堂に集まり、東京で飲み会をした。上京した私は、上野公園近くのホテルに泊まった。

東京での三日間は、半日だけ上野動物園で過ごし、それ以外は、上野公園内の国立科学博物館の地球館にいた。最終日、博物館の閉館時間が過ぎ、帰りの新幹線に乗るためJR上野駅に向かって公園内を歩いている時、私の心にピンと来るものがあった。

（目の前にはスカイツリーや浅草の観光地があるというのに……。そうだ！私は今、地球への百年間の修学旅行中なのだ）

旅行を終え本部の星に戻ると、地

球についてのレポート提出と、報告発表が待っている。

